

- 問1 世界自然遺産である知床半島における「自然保護と観光業の両立」を目指す考え方について、その背景や目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 観光客の増加に伴う環境破壊を防ぐため、特定の区域への人の立ち入りを全面的に禁止する。 | 2. 自然環境の回復を最優先とし、観光客を一切受け入れないことで持続可能な社会を実現する。 | 3. 生態系への環境負荷を抑える設備を整えることで、環境保全と地域の観光振興を並立させる。 | 4. 大規模なリゾート開発を優先し、交通網を整備することで観光客の利便性と経済利益を最大化する。 |
|---|---|---|--|
- 問2 日本の水産業において国内市場の縮小を引き起こしている背景や理由の説明として、最も適切なものを次のうちから1つ選んでください。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 養殖業の技術革新によって、天然魚の市場価格が急速に高騰したため | 2. 人口減少に加えて食生活が変化し、魚介類の購入量や消費量が減っているため | 3. 近年の地球温暖化に伴い、日本近海の海水温が急激に低下したため | 4. 若年層を中心として、家庭における水産物の消費が急増しているため |
|------------------------------------|--|-----------------------------------|------------------------------------|
- 問3 日本の発電方法別の割合の変化を示した資料において、水力発電が日本の発電量全体に占める割合は1970年頃から低下しています。その歴史的な背景や理由として適切なものはどれですか。 (2019年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. ダムの建設が環境破壊につながるとして、国の方針によりすべての山間部の発電所が都市部へ移転されたから。 | 2. 高度経済成長期の電力需要の急増に対応するため、建設期間が短く大量発電が可能な火力発電が主流になったから。 | 3. 2013年以降、太陽光や風力などの新しい再生可能エネルギーが普及し、水力発電の割合が1割を超えて急上昇したから。 | 4. 石油危機の影響により、輸入に頼らない水力発電を縮小し、原子力発電への一本化が急速に進められたから。 |
|---|---|---|--|
- 問4 日本の諸地域における観光施設の分布を分析した際、新潟県や茨城県のように長い海岸線と砂浜を持つ地域において、夏期の主要な観光レクリエーション施設として数多く確認されるものはどれですか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. スキー場 | 2. ゴルフ場 | 3. テマパーク | 4. 海水浴場 |
|---------|---------|----------|---------|
- 問5 日本の都道府県における人口移動の統計では、地域ごとに異なる特徴が見られます。東京都では転入者が転出者を大幅に上回る一方で、沖縄県では出生数が死亡数を上回る傾向が続いています。これらの状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 東京都では自然増が著しく、沖縄県では社会増が見られる。 | 2. 東京都では自然減が著しく、沖縄県では社会減が見られる。 | 3. 東京都では社会減が著しく、沖縄県では自然減が見られる。 | 4. 東京都では社会増が著しく、沖縄県では自然増が見られる。 |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
- 問6 1970年代から現代にかけて、東京都中央区の勝どきなどの沿岸部（ウォーターフロント）では、大規模な景観の変化が見られます。かつては工場や倉庫が密集していた地域が、現在では高層マンションや商業施設が立ち並び地域へと変貌した主な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 都心の地価が下落し、低層の戸建て住宅が広範囲に建設されるようになったため。 | 2. 重化学工業のさらなる発展により、最新鋭の巨大工場が沿岸部に集中したため。 | 3. 都市部での過疎化を食い止めるため、政府が農地を宅地に転換する政策を進めたため。 | 4. 産業構造の変化にともない、工場の跡地などが住宅地や商業地へと再開発されたため。 |
|--|---|--|--|
- 問7 愛知県や富山県のように製造業が盛んな地域では、都道府県別の就業者数の内訳を示すデータにおいて、特定の産業分野に従事する人々の割合が全国平均と比べて高くなっています。この特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|--|--|
| 1. 産業別人口構成において、製造業を含む第二次産業の割合が高い。 | 2. 就業者数に占める第一次産業の割合が、他県を圧倒して首位である。 | 3. 産業別人口構成において、商業やサービス業を含む第三次産業の割合が最も低い。 | 4. 労働人口の大部分が公共事業に従事しており、第三次産業が発展していない。 |
|-----------------------------------|------------------------------------|--|--|
- 問8 日本のエネルギー供給の状況を示した資料において、2010年のエネルギー自給率は19.9%でしたが、2012年には6.0%にまで低下しています。この時期のエネルギー供給の内訳の変化について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 水力発電がすべて停止したため、不足した電力を補うために隣国からの電力輸入を本格的に開始した。 | 2. 国内の石炭産出量が増加したことにより、これまで輸入していたエネルギーを国内産に切り替えた。 | 3. 太陽光や風力などの再生可能エネルギーの供給割合が急激に減少したこと、自給率が押し下げられた。 | 4. 原子力発電の割合が縮小したこと、自給率が低下し、不足分を補うために石油や天然ガスなどの輸入が増加した。 |
|---|--|---|--|
- 問9 都道府県別の農業産出額の割合を示した資料において、果実の割合が約3割を占め、全国的に見ても果樹栽培が盛んな地域として知られる都道府県を選びなさい。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 北海道 | 2. 青森県 | 3. 秋田県 | 4. 新潟県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問10 太陽光や風力などの新エネルギーを用いた発電は、石炭や天然ガスを用いた火力発電と比較して、発電コストの構造にどのような特徴がありますか。コストの内訳を説明した文として最も適切なものを選択してください。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 発電にかかるすべての経費において火力発電を下回っているが、天候による出力変動を補うための蓄電経費のみが高くなっている。 | 2. 燃料費や二酸化炭素対策費がほとんどかからない一方で、設備費や運転維持費、政策経費が高くなる傾向にある。 | 3. 設備費や運転維持費が安く抑えられる一方で、発電に必要な燃料費や二酸化炭素対策費が火力発電よりも高くなる。 | 4. 燃料費や設備費は火力発電と同程度であるが、二酸化炭素を排出しないため政策経費が全くかからないという利点がある。 |
|--|--|---|--|
- 問11 静岡県の茶畑の風景を見ると、平坦な土地よりも、山の斜面などの傾斜地に沿って規則正しく茶の木が植えられている様子が多く見られます。このようにあえて傾斜地を利用して栽培が行われる理由として、茶の生育特性を考慮した説明はどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 日当たりを制限することで、茶の葉に含まれる渋み成分を抑えるため | 2. 標高を高くすることで、茶が好む冷涼で厳しい気候環境を作るため | 3. 土地の保水力を高めることで、夏の乾燥による枯死を防ぐため | 4. 雨水が滞留するのを防ぎ、根が腐らないよう水はけを良くするため |
|------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
- 問12 東京駅から新大阪駅を結ぶ主要な鉄道路線において、神奈川県の小田原市付近を通り、太平洋側の地域を走行する経路がとられているものがあります。この路線が通過する都道府県として正しいものはどれですか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 長野県 | 2. 福井県 | 3. 和歌山県 | 4. 愛知県 |
|--------|--------|---------|--------|